



無所属38歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索

住所 横須賀市野比2-13-18

☎ 070-6640-3927

Fax 046-801-2177

✉ info@kobayashinobuyuki.com ↑

Web <http://kobayashinobuyuki.com>

野比在住。1975年(昭和50年)9月3日生。
筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサル
ティングに携わるが、地域の疲弊と日本の
将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験
合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市
長)公設秘書として修行し、2011年4月より
横須賀市議会議員。地域通貨イタッチ事
務局長など、市民活動にも関わる。

マニフェスト大賞
優秀賞受賞御礼

第一特集

データマップで見る横須賀

『横須賀データマップ』で、横須賀のいまが見える。

第二特集

ヨコスカ給食白書⑤

中学校昼食へ。ついに、市民の声が扉をこじ開けた！

マニフェスト大賞 優秀賞 受賞御礼

第一特集

データマップで見る横須賀

『横須賀データマップ』で、
横須賀のいまが見える。

横須賀はいま、どうなっているのか？

市役所でも、いろいろな統計や調査などを出していますが、
ブ厚い報告書だったりして、わかり難いこともあると
思います。そこで、地図に落としこんでみました。
『横須賀データマップ ～41万人の地図～』です。

いくつか抜き出してお紹介します。

1-2. 若い地域、老いた地域

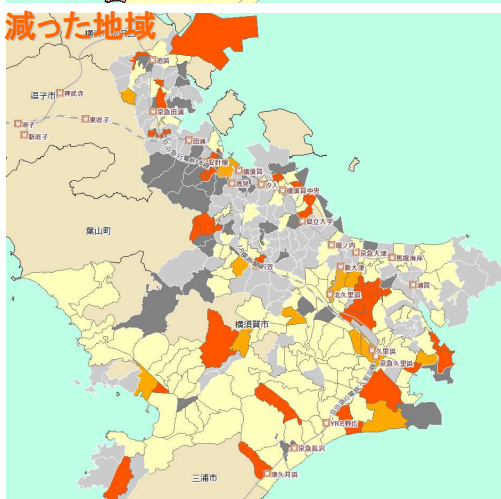
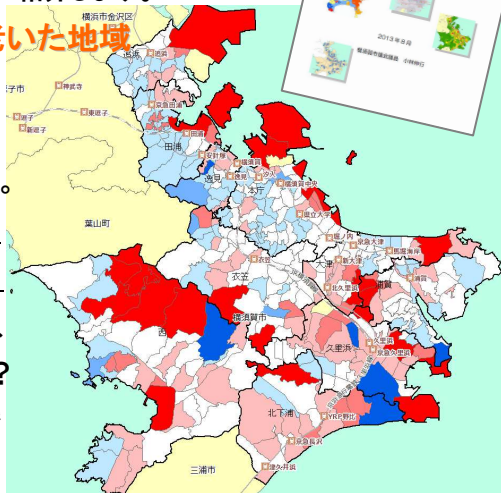
たとえば、横須賀市
の町丁名ごとに平均
年齢を見てみましょう。

これを見ると御幸浜
や走水1丁目などは、
非常に若いのですが、
何故だと思いますか？
答えは、どうぞ本編で
ご覧下さい(笑)

1-6. 増えた地域、減った地域

今度は同じ町丁名
ごとに人口の増減を
見てみましょう。

吉井3丁目や日の
出町3丁目など新規
開発やマンション建
設があった場所は増
加した一方、中央地
区や谷戸地域は減
少が目立ちます。



横須賀の中だけでなく、他のまちと比べて
みてもオモシロいですよ。

3-2. 中学校給食の県内導入状況

中学校給食の導入率は、神奈川県は
16.4%と全国ワースト2位。ただし、
実際には、人口の多い横浜と
川崎が足を引っ張っているだけで、
2市を除くとそれなりに導入されて
いることに気付きます。

3-3. 小児医療費助成(通院)は何歳まで？

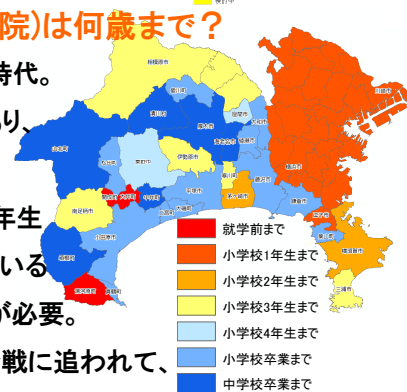
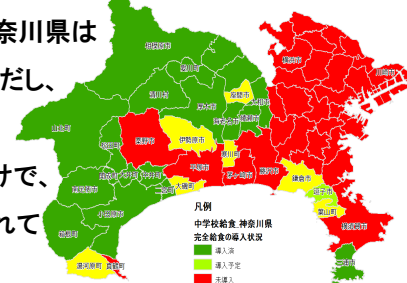
市町村もサービス競争する時代。
雑誌などで比べられることもあり、
小児医療費無料化も「うちは
2年生まで！」「じゃあうちは6年生
までだ！」と引上げ競争をしている
状態です。しかし多額の財源が必要。

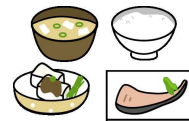
市町村間の不毛なパラマキ合戦に追われて、
他の政策が後回しになる現状を、みなさんどう思いますか？

ヨコスカの、いまとこれから、一緒に語りませんか？

私は、「見える」「わかる」「変わる」という基本政策を掲げて
議員になりました。この『横須賀データマップ』は、みなさんに
現状を見えるようにし、問題をわかりやすくお伝えして、私たち
市民の手で横須賀を変える材料とすることが狙いです。今回
TVでもおなじみの北川正恭元知事らが始めた「マニフェスト
大賞」第8回でも優秀政策提言賞を頂きました。

今後、この冊子を使った「語り場」を開きます。一緒に横須賀
の今と未来を語りましょう！「語り場」の予定は編集後記へー





いよいよ中学校給食並みのサービスが実現へ！

中学校給食を待ち望む皆様へ、やっといい報告ができます！
いよいよ給食か、それに匹敵するお昼ごはんが、中学校でも提供されることが間違いない状況になりました。

<おさらい>これまでの中学校給食をめぐる動き

●以前から何人もの議員が中学校給食を提案してこれ、特に2003年頃の公明党さんの働きで、ひとまず弁当注文の導入までこぎつけました。

●ただし、栄養や価格などの面でやはり給食とは別モノで、利用は低調。しばらく、その状態で止まっていました。

●その後、2011年の選挙で私が当選し、中学校給食の導入をガンガン訴え、他の議員にも共闘を呼び掛けた結果、事態が動いてきました。

●まず、市長・教育長が消極的なので、私は市民アンケートを実施し、市民の声をテコに市に働きかけました。

→詳細結果はblog記事「中学校給食の署名&アンケート結果」参照

●さらに、大野忠之議員や大村洋子議員らも議会で提案して下さいました。

急展開！ここ数か月の動き

そして今回、知人から「中学校給食を求める請願を議会に出したい」と頼まれました。323名もの市民が署名したこの請願は、私と山城保男議員らの署名で提出されました。

この請願は6月10日の教育福祉常任委員会で議題となり、ザックリ言うと「まずは検討が先で、いきなり実施は実際難しいね」という議論があつて、形としては「不採択」となりました。ただし、木下憲司議員が、代わりに次の意見を付けようと提案して下さいました。

私はこの委員会のメンバーじゃないので木下議員に感謝！



“中学校における給食のあり方について、市民ニーズを十分に考慮し、併せて財政面の負担も考慮しながら、完全給食の実施形態に関して積極的な検討を行うこと”

この意見には多くの議員が同意し、6月21日の本会議で確定。これは、「議会全体の意思」として市役所に「中学校給食を積極的に検討しなさいよ」と意見したことになります。「議会全体の意思」は、つまり「市民の意思」ですから、大変重い意味があります。

さらに、今年6月の市長選でも、中学校給食が争点に浮上。他の2候補が公約に掲げる中、消極的だった現職の吉田市長も「中学校での給食実施ニーズに応えます」と公約しました。

「給食実施ニーズに応える」ってどういうこと？

市長選では吉田雄人氏が再選したので、彼の公約内容を、9月24日の議会で具体的に確認することにしました。“保護者のニーズは「小学校のように中学校でも、栄養のバランスがよく、安全・安心で、おいしいお昼ごはんを、低価格で提供してくれること」だろう。これを実現するということ間違いないか？”

これに対し市長は、「基本的には間違いない。ただし、味を追求することで栄養バランスを欠いてはいけない。おいしさは優先しない」旨の回答でした。多くの保護者の方にとっては、ほぼ「満額回答」ではないでしょうか？

中学校給食か、給食並みの昼食が実現する！

以上、まだ「いつ」とまでは言えませんが、遅くとも4年以内には実現するはず。当たり前ですが、市民の声が行政を動かすことを改めて実感しました。やればできるんですね。

かつて、私も若い頃は「どうせ政治なんて」と言っていたクチでしたが、そんな自分を反省しながらも、市民のみなさんに「政治を、あきらめないでくださいね！」とお伝えしたいです。

編集後記

ヨコスカのいまとこれから、一緒に語りましょう！

『横須賀データマップ』を題材に、ざっくばらんに横須賀の今と未来を語り合う「語り場」を開いていきます。ややこしい勉強会や研究会ではないので、気軽にお越しください。

- 10/16(水) 19:00~20:30@北下浦コミセン 小会議室
- 10/25(金) 18:00~19:30@役所屋久里浜店内サポセン
- 10/27(日) 10:00~11:30@産業交流プラザ第5会議室
- 10/30(水) 18:00~19:30@役所屋追浜店内サポセン
- 11/5(火) 19:00~20:30@衣笠コミセン 第1学習室
- 11/6(水) 18:30~20:00@志も町内会館
- 11/7(木) 19:00~20:30@西コミセン 第2学習室
- 11/8(金) 19:00~20:30@浦賀コミセン 第3学習室

「横須賀ハコモノ研究会」第5回は、プロの解説
ようやくハコモノの全貌が見えてきました。市が作成した「公共施設マネジメント白書」をどう読むか？横須賀では何が問題なのか？専門家に解説して頂きます。

- ・講師：PHP 総研 主任研究員 佐々木陽一氏
- ・場所：産業交流プラザ 第2研修室・参加費：100円・日時：11月17日(日)13:30~16:00



応援してください！

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思っ下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

小林のぶゆきの基本政策

見える

誰が何をどう決めてるのかわかんない……。
市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる

難しい説明をされてもよくわからない……。
いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる

これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。
現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。
必ず私、小林伸行が自分で目を通します！



E-mail: info@kobayashinobuyuki.com Fax: 046-801-2177